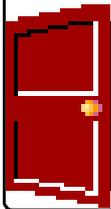


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No58

桑村小学校令和5年10月23日 文責 渡邊

読書の秋!お気に入りの図書の紹介!!

先日、久しぶりに静岡県総合教育センターと一緒に仕事をした同僚から連絡がありました。とても元気な声に、当時のことがいろいろと思い出されました。彼からは一冊の図書を紹介してもらったことを覚えています。

午前中の業務が終わり、昼食を摂ろうとしていたときに「課長、この本読んだことがありますか？読んでいないのであれば、是非読んでみてください。とってもおもしろいですから。」と差し出された図書は、原田マハが著した『本日は、お日柄もよく』（原田マハ著、徳間文庫 2010）でした。



【センターの仲間の似顔絵より】

10月1日(日)の静岡新聞一面にある「大自在」に、この『本日は、お日柄もよく』についてのコメントが掲載され、彼のことを懐かしく思い出していたときの連絡でしたからとても驚きました。

新聞には、次のように書かれています。

原田マハさんのお仕事小説「本日は、お日柄もよく」（2010年）は結婚披露宴の場面で始まる。主人公の二ノ宮こと葉は、この常套句で始まった来賓スピーチに閉口した後、「伝説のスピーチライター」久遠久美の祝辞に感動。（中略）こと葉は久美に弟子入りし、一念発起して転職。「政権交代」を訴える野党新人候補のスピーチライターに抜擢され、…。言葉の力を再認識させてくれる作品だ。

『本日は、お日柄もよく』（原田マハ著、徳間文庫 2010）には、次のような文章が載っています。

困難に向かい合ったとき、もうだめだと思ったとき、想像してみるといい。
三時間後の君、涙がとまっている。
二十四時間後の君、涙は乾いている。
二日後の君、顔を上げている。
三日後の君、歩き出している。

※『本日は、お日柄もよく』（原田マハ著、徳間文庫 2010）P322

がんばっている桑っ子のみんなへ

みんなが行うことは全てが上手くいくとは限りません。それは、校長先生も同じです。失敗することは自分にとって大きなエネルギーとなります。そのことはすぐには気づかないものです。それでいいんです。ときには止まることも必要です。後ずさりしたっていいんです。解決の仕方は私しか分からないのです。他人は他人、自分は自分。自分のことを大切に、自分なりの方法で歩めばよいのです。一歩ずつ、少しずつ。顔を上げて、自分の歩幅で歩いていくのです。